

ご存じですか！文化財

「樋遣川古墳群」

市指定史跡
昭和31年4月16日指定

10



問合せ
生涯学習課
(☎内線352)



所在地 上樋遣川4396

今回ご紹介する文化財は、樋遣川古墳群御諸塚と樋遣川地名の由来についてです。

樋遣川古墳群については、江戸時代後期に編纂された「新編武蔵風土記稿」の樋遣川村の項に「穴昨塚・御諸塚・石子塚・稲荷塚・浅間塚・宝塚・宮西塚、以上の塚を樋遣川の七塚と云…」とあり江戸時代には、七つの塚があったことが記されています。

現存するのは御諸塚、稲荷塚、浅間塚の三基だけで、いずれも市の文化財に指定されています。それらのうち、うっそうたる櫟並木や照葉樹林に囲まれた御諸塚

は、樋遣川古墳群の核をなす最大規模の古墳で、径約40メートル、高さ5メートルの円墳です。墳頂部には御室社を祀り御室塚古墳とも言われ、上毛野国(現在の群馬県)を治めていた御諸別王の墳墓であると言伝えられています。

なお、樋遣川という地名のいわれの一説には、今からおおよそ1900年前、御諸別王が戦の際、茅野に潜んでいた敵を数百の火矢を放って焼き払い、大勝利したことから穴昨村を「火矢利の里」と改称したことによるものとの言い伝えがあります。

樋遣川古墳群稲荷塚



樋遣川古墳群浅間塚

樋遣川古墳群御諸塚

紹介者 清水 儀久さん(不動岡)